



2018年5月1日

2018年度 第1四半期 決算

ハイライト

2018年度第1四半期は、国内たばこ事業が厳しい状況にある中、海外たばこ事業及び医薬事業の力強いパフォーマンスにより、為替一定ベースの調整後営業利益が前年同期を上回る実績

事業別の主なトピック

➤ 海外たばこ事業

- 調整後営業利益は、イラン・台湾・ロシア等の単価上昇効果により成長
- インドネシア・エチオピア・フィリピンの買収に伴う総販売数量増
- 主要市場アップデート
 - ロシアでは、着実なプライシングを行いつつも、GFB シェアが過去最高を記録
 - 英国では、6ヵ月連続でシェアが上昇し、四半期シェアは、41%に到達、また3月に値上げを実施

➤ 国内たばこ事業

- 調整後営業利益は、紙巻販売数量の減少影響を Reduced-Risk Products (RRP)関連の売上増加等が一部相殺するも減益
- 紙巻シェアは、メビウス等の堅調なパフォーマンスにより対前年増
- RRP アップデート
 - RRP は、Ploom TECH の販売エリア拡大に伴い販売数量伸長
 - 製造能力増強に努める中、製造設備の稼働が安定化してきたことから、全国販売は6月に開始し、7月には全国のコンビニエンスストアで販売開始

代表取締役社長 寺島 正道 CEO コメント:

“2018年度第1四半期は、厳しい事業環境の中、通期の目標達成に向け順調なスタートを切った。

当社グループの利益基盤である紙巻たばこについては、海外ではプライシングに伴うトップライン成長への回帰を実現し、国内においても、メビウスを中心に紙巻シェアは一層盤石なものとなった。加えて、将来の利益成長に向け、地理的拡大という戦略に則って2017年に実施したM&Aもトップライン成長に寄与している。また、3月にはドンスコイ・タバック社の買収に合意し、クロージング後にはロシアにおけるNo.1ポジションをさらに強固なものとすると考えている。

Reduced-Risk Products については、将来の成長基盤であると考えており、お客様に多様な選択肢を提供すべく、グローバルベースで着実に投資を実行している。まずは日本市場における販売エリア拡大と製品ポートフォリオの拡充に注力しているところ。こうした中、たばこカプセルの製造能力増強に努め、製造設備の稼働が安定化してきたことから、Ploom TECH の全国販売を6月に開始し、7月には全国のコンビニエンスストアでも販売を開始する。加えて、高温加熱式タイプの製品開発にもしっかりと取り組み、早ければ今年の末もしくは来年初頭の販売開始を目指していく。”

投資家説明会（電話会議）

投資家説明会（電話会議）は、2018年5月2日、東京時間 16時より行います。

投資家説明会資料等については、JTウェブサイトからご覧になれます。(<https://www.jti.co.jp/investors/index.html>)

(このページは空白です)

2018 年度 第 1 四半期 全社及び事業別実績

全社実績

(億円)	2017 Q1	2018 Q1	増減率
売上収益*	5,061	5,150	+1.8%
調整後営業利益	1,503	1,481	-1.5%
営業利益	1,490	1,468	-1.5%
四半期利益（親会社所有者帰属）	1,055	1,040	-1.4%
為替一定ベース 調整後営業利益	1,503	1,510	+0.5%

2018 年度 第 1 四半期実績

• 売上収益

売上収益は、国内たばこ事業における紙巻販売数量減少影響及び加工食品事業の減収に加えて円高によるネガティブな為替影響を受けたものの、海外たばこ事業における単価上昇効果及び買収に伴う数量効果に加えて、国内たばこ事業における RRP の販売数量増加及び医薬事業におけるロイヤリティ収入の増加により、前年同期比 1.8%増の 5,150 億円となりました。

• 調整後営業利益

為替一定ベースの調整後営業利益は、国内たばこ事業及び加工食品事業の減益はあるものの、海外たばこ事業及び医薬事業の増益により、前年同期比 0.5%増の 1,510 億円となりました。財務報告ベースでは、円高によるネガティブな為替影響を受けたことにより、前年同期比 1.5%減の 1,481 億円となりました。

• 営業利益

営業利益は、調整後営業利益の減益により、前年同期比 1.5%減の 1,468 億円となりました。

• 親会社の所有者に帰属する四半期利益

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、営業利益の減益により、前年同期比 1.4%減の 1,040 億円となりました。

* 2018 年度より、IFRS 第 15 号の適用に伴い、従来、販売費及び一般管理費としていた一部の項目を売上収益の控除として会計処理しております。この結果、従前の会計基準を適用した場合と比較して、当第 1 四半期連結累計期間の要約四半期連結損益計算書において、売上収益が 1,973 百万円、販売費及び一般管理費等が 17,042 百万円、それぞれ減少し、売上原価が 15,069 百万円増加しております。なお、調整後営業利益に与える影響はありません。

事業別実績

海外たばこ事業

(億本、億円)	2017 Q1	2018 Q1	増減率
総販売数量	917	984	+7.3%
GFB 販売数量	602	620	+3.1%
自社たばこ製品売上収益	2,760	2,948	+6.8%
調整後営業利益	920	963	+4.7%
参考：ドルベース（百万ドル）			
自社たばこ製品売上収益	2,429	2,724	+12.1% (+7.5%)*
調整後営業利益	810	890	+9.9% (+7.9%)*

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

2018 年度 第 1 四半期実績

• 販売数量及び市場シェア¹

総販売数量は、インドネシア・エチオピア・フィリピンにおける買収効果及び流通在庫調整のプラス影響により、前年同期比 7.3%増となりました。買収効果及び流通在庫調整による影響を除いた総販売数量は、イラン・スペイン・トルコ・ルーマニア・新興市場における販売数量の増加があったものの、主にフランス・台湾・ロシアにおける総需要減少影響を相殺できず、前年同期比 2.2%減となりました。GFB 販売数量は、主にウィンストン・キャメル・LD のシェアが増加したことにより、全てのクラスターにおいて数量が増加し、前年同期比 3.1%増となりました。また、主要市場であるスペイン・台湾・フランス・ロシアにおいて、市場シェア及び GFB シェアは対前年同期で増加となりました。

• 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、単価上昇効果の堅調な発現及び買収に伴う数量効果により、前年同期比 6.8%増となりました。調整後営業利益は、新興市場及び Reduced-Risk Products への継続的な投資を行う中、前年同期比 4.7%増となりました。なお、自社たばこ製品売上収益・調整後営業利益ともに円高によるネガティブな為替影響を受けています。

ドルベースの自社たばこ製品売上収益は、主にイラン・スペイン・台湾・ロシアにおける単価効果（109 百万ドル）及び買収・流通在庫調整による数量効果（72 百万ドル）に加え、為替影響（113 百万ドル）がプラスに作用したことにより、前年同期比 12.1%増となりました。調整後営業利益は単価上昇効果（102 百万ドル）を主因に前年同期比 9.9%増、為替一定ベースでは 7.9%増となりました。

海外たばこ事業

クラスター別 四半期実績

South and West Europe

(億本, 百万ドル)	2017 Q1	2018 Q1	増減率
総販売数量	159	160	+0.7%
GFB 販売数量	127	129	+1.8%
自社たばこ製品売上収益	460	519	+13.0% (-1.0%)*

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

• 販売数量及び市場シェア

総販売数量は、主にイタリア・スペイン・フランスにおける流通在庫調整によるプラス影響により、前年同期比 0.7%増となりました。流通在庫調整による影響を除いた総販売数量は、前年同期比 3.8%減となりました。GFB 販売数量は、ウィンストン及びキャメルが牽引し、前年同期比 1.8%増となりました。市場シェアは、オランダ・ギリシャ・スイス・スペイン・フランス・ベルギー・ルクセンブルグにおいて対前年同期で増加、もしくは同水準となりました。

• 自社たばこ製品売上収益

自社たばこ製品売上収益は、数量効果（11 百万ドル）及び為替影響（64 百万ドル）が、ネガティブな単価効果（15 百万ドル）を相殺し、13.0%増となりました。為替一定ベースでは、前年同期比 1.0%減となりました。

• 市場別実績

フランスにおける総販売数量は、流通在庫調整によるプラス影響があったものの、増税の影響により、前年同期比 5.2%減となりました。流通在庫調整による影響を除いた総販売数量は、総需要の減少幅を若干上回り、前年同期比 11.6%減となりました。GFB 販売数量及び Fine cut の販売数量は、それぞれ前年同期比 4.4%減、3.9%減となりました。市場シェアは、前年同期比 0.1 パーセントポイント増の 22.1%となりました。当第 1 四半期における 3 カ月平均市場シェアは、ウィンストンが牽引し、2017 年度第 4 四半期の市場シェアから 0.7 パーセントポイント増の 22.6%となりました。

イタリアにおける総販売数量は、流通在庫調整によるプラス影響により、前年同期比 4.5%増となりました。流通在庫調整による影響を除いた総販売数量は、総需要の減少影響がある中、前年同期比 0.3%減にとどまりました。GFB 販売数量及び Fine cut の販売数量は、主にキャメルが牽引し、それぞれ前年同期比 2.5%増、25.8%増となりました。市場シェアは、前年同期比 0.3 パーセントポイント減の 23.2%となりました。当第 1 四半期における 3 カ月平均市場シェアは、2017 年度第 4 四半期の市場シェアから 0.4 パーセントポイント増の 23.4%となりました。

スペインにおける総販売数量・GFB 販売数量・Fine cut の販売数量は、主にウィンストン・キャメルの伸長及び流通在庫調整によるプラス影響により、それぞれ前年同期比 11.8%増、16.4%増、15.4%増となりました。流通在庫調整による影響を除いた総販売数量は、総需要の減少影響があったものの、前年同期比 3.3%増となりました。市場シェアは、主にウィンストン及びキャメルが牽引し、前年同期比 1.2 パーセントポイント増の 24.2%となりました。

North and Central Europe

(億本, 百万ドル)	2017 Q1	2018 Q1	増減率
総販売数量	125	123	-1.8%
GFB 販売数量	52	52	+0.5%
自社たばこ製品売上収益	470	490	+4.3% (-8.4%)*

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

- **販売数量及び市場シェア**

総販売数量は、英国・オーストリア・ドイツ等における販売数量の減少により、前年同期比 1.8%減となりました。GFB 販売数量は、主にチェコ・ハンガリー・ポーランドが牽引し、前年同期比 0.5%増となりました。市場シェアは、チェコ及びハンガリーにおいて伸長しました。

- **自社たばこ製品売上収益**

自社たばこ製品売上収益は、為替影響（60 百万ドル）がネガティブな数量効果（8 百万ドル）及びネガティブな単価効果（32 百万ドル）を上回り、前年同期比 4.3%増となりました。為替一定ベースでは、前年同期比 8.4%減となりました。

- **市場別実績**

ドイツにおける総販売数量・GFB 販売数量・Fine cut の販売数量は、総需要の減少影響及び Fine cut における価格競争により、それぞれ前年同期比 6.7%減、7.8%減、10.1%減となりました。市場シェアは、前年同期比 0.6 パーセントポイント減の 7.5%となりました。当第 1 四半期における 3 カ月平均市場シェアは、2017 年度第 4 四半期の市場シェアから 0.2 パーセントポイント増の 7.7%となりました。

英国における総販売数量及び Fine cut の販売数量は、今年 3 月の値上げを前に仮需が発生し、総需要の減少影響を一部相殺したものの、それぞれ前年同期比 1.4%減、0.8%減となりました。市場シェアは前年同期比 1.0 パーセントポイント減の 40.5%となりました。当第 1 四半期における 3 カ月平均市場シェアは、紙巻たばこにおいてベンソン・アンド・ヘッジズ、Fine cut においては Sterling が牽引し、2017 年度第 4 四半期の市場シェアから 0.5 パーセントポイント増の 41.1%となりました。

CIS+

(億本, 百万ドル)	2017 Q1	2018 Q1	増減率
総販売数量	290	280	-3.3%
GFB 販売数量	207	211	+2.0%
自社たばこ製品売上収益	554	631	+13.9% (+9.7%)*

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

- **販売数量及び市場シェア**

総販売数量は、流通在庫調整によるプラス影響が主にウクライナ及びロシアにおける総需要の減少影響を一部相殺したものの、前年同期比 3.3%減となりました。流通在庫調整による影響を除いた総販売数量は、前年同期比 5.1%減となりました。GFB 販売数量は、ウィンストン及び LD が力強く牽引し、前年同期比 2.0%増となりました。市場シェアは、カザフスタン・ルーマニア・ロシアにおいて伸長しました。

- **自社たばこ製品売上収益**

自社たばこ製品売上収益は、単価上昇効果（75 百万ドル）及び為替影響（23 百万ドル）がネ

ガティブな数量効果（22 百万ドル）を上回ったことにより、前年同期比 13.9%増となりました。為替一定ベースでは、前年同期比 9.7%増となりました。

- **市場別実績**

ルーマニアにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、ウィンストン及びソブラニーが牽引し、それぞれ前年同期比 1.0%増、4.4%増となりました。市場シェアは、ウィンストン及びソブラニーが牽引し、前年同期比 0.6 パーセントポイント増の 27.0%増となりました。

ロシアにおける市場シェアは、引き続き前年を上回り、前年同期比 1.1 パーセントポイント増の 33.5%に達し、売上シェアは、前年同期比 1.0 パーセントポイント増の 35.0%となりました。GFB 市場シェアは、No.1 ブランドであるウィンストン及び LD がともに過去最高シェアを記録したことにより、前年同期比 1.5 パーセントポイント増となり、過去最高の 24.4%となりました。GFB 販売数量は、LD の力強い伸長が牽引し、前年同期比 4.1%増となりました。総販売数量は、当第 1 四半期における総需要の減少影響が 8.8%と推計²される中、流通在庫調整によるプラス影響により、前年同期比 4.4%減となりました。流通在庫調整による影響を除いた総販売数量は、前年同期比 7.2%減となりました。

Rest-of-the-World

(億本, 百万ドル)	2017 Q1	2018 Q1	増減率
総販売数量	343	421	+22.7%
GFB 販売数量	216	228	+5.4%
自社たばこ製品売上収益	946	1,084	+14.6% (+18.2%)*

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

- **販売数量及び市場シェア**

総販売数量は、インドネシア・エチオピア・フィリピンにおける買収効果及び流通在庫調整によるプラス影響により、前年同期比 22.7%の大幅増となりました。買収効果及び流通在庫調整による影響を除いた総販売数量は、イラン・スーダン・タイ・トルコ・フィリピン・米国・モロッコ等が牽引し、前年同期比 0.7%増となりました。GFB 販売数量は、ウィンストン・キャメル・LD が牽引し、前年同期比 5.4%増となりました。市場シェアは、主にイラン・台湾・フィリピン・ブラジルで伸長しました。

- **自社たばこ製品売上収益**

自社たばこ製品売上収益は、単価上昇効果（81 百万ドル）及び数量効果（91 百万ドル）がネガティブな為替影響（34 百万ドル）を上回り、前年同期比 14.6%増となりました。為替一定ベースでは、前年同期比 18.2%増となりました。

- **市場別実績**

イランにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、同市場において最大のブランドであるウィンストンの力強いパフォーマンスが牽引し、それぞれ前年同期比 8.6%増、15.6%増となりました。市場シェアは、継続して伸長しており、前年同期比 7.7 パーセントポイント増の 53.3%となりました。

台湾における総販売数量は、昨年 6 月の増税以降の大幅な総需要の減少影響により、前年同期比 18.7%減となりました。GFB 販売数量は、ウィンストン及びメビウスの販売数量減少により、前年同期比 21.8%減となりました。市場シェアは、前年同期比 1.3 パーセントポイント増の 41.7%となり、台湾における No.1 のポジションを強固なものとししました。当第 1 四半期における 3 カ月平均市場シェアは、2017 年度第 4 四半期の市場シェアから 1.4 パーセントポイント増となりました。売上シェアは、0.6 パーセントポイント増の 47.2%となりました。

トルコにおける総販売数量は、総需要が増加したこともあり、前年同期比 5.4%増となりました。GFB 販売数量は、ウィンストン及びキャメルが牽引し、前年同期比 8.4%増となりました。市場シェアは、前年同期比 0.9 パーセントポイント減の 28.2%となりました。

¹出典：IRI、Logista、Nielsen 及び JTI 内部データ。特に言及がない限り 2018 年 3 月時点の 12 カ月移動平均ベース。カザフスタン・ギリシャ・チェコ・フィリピン・ブラジル・ベルギーに関するデータは 2018 年 2 月時点の 12 カ月移動平均ベース。2018 年 3 月時点での 12 カ月移動平均市場シェアの増減算出の比較対象は 2017 年 3 月時点の 12 カ月移動平均ベース。

²出典：JTI 内部データ 2018 年 1-2 月ベースの対前年同期比較。

国内たばこ事業

(億本, 億円)	2017 Q1	2018 Q1	増減率
紙巻総需要	377	318	-15.6%
紙巻販売数量	230	195	-15.0%
自社たばこ製品売上収益	1,439	1,293	-10.1%
調整後営業利益	572	489	-14.4%

2018年度 第1四半期実績

紙巻販売数量

RRP市場の拡大及び趨勢減により、紙巻総需要は前年同期比15.6%減となりました。紙巻総需要の減少影響を受け、当社の紙巻販売数量も前年同期比15.0%減となりました。紙巻シェアについては、メビウス等の堅調なパフォーマンスにより、前年同期比0.5パーセントポイント増の61.4%となりました。

RRP販売実績

国内たばこ市場に占めるRRPのマーケットシェアは、当第1四半期において20%程度と推計しています。当社のRRPの販売数量は紙巻たばこ換算ベースで3億本となり、展開エリアにおける当第1四半期の当社のPloom TECHのシェア*は3~4%と推計しています。なお、Ploom TECHのデバイスの発売開始後累計販売台数は、4月に2百万台を超えました。

*コンビニエンスストアのシェア

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、主に紙巻販売数量の減少影響(207億円)をRRP関連売上収益の増加が一部相殺し、前年同期比10.1%減となりました。なお、RRP関連売上収益は83億円となっております。調整後営業利益は、紙巻販売数量の減少影響(170億円)があるものの、RRP関連売上収益の増加及び販売促進費減等(計87億円)が一部相殺し、前年同期比14.4%減となりました。

医薬事業

(億円)	2017 Q1	2018 Q1	増減率
売上収益	232	267	+14.9%
調整後営業利益	51	77	+52.1%

2018年度 第1四半期実績

売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、導出品の販売拡大に伴うロイヤリティ収入の増加及びグループ会社である鳥居薬品株式会社における販売が好調に推移したことにより、前年同期比14.9%増となりました。調整後営業利益については、売上収益の増加により、前年同期比52.1%増となりました。

加工食品事業

(億円)	2017 Q1	2018 Q1	増減率
売上収益	383	377	-1.5%
調整後営業利益	12	7	-39.8%

2018年度 第1四半期実績

- **売上収益及び調整後営業利益**

売上収益については、ステーブル商品及び調味料の販売は堅調であったものの、その他商品の販売が減少したことにより、前年同期比 1.5%減となりました。

調整後営業利益については、売上収益の減少に加え、原材料費の高騰等により前年同期比 39.8%減となりました。

データシート

2018年 Q1実績

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2017 Q1	2018 Q1	増減	増減率
売上収益	5,061	5,150	+89	+1.8%
営業利益	1,490	1,468	-22	-1.5%
調整後営業利益	1,503	1,481	-23	-1.5%
税引前利益	1,425	1,399	-26	-1.8%
四半期利益	1,060	1,045	-15	-1.4%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	1,055	1,040	-15	-1.4%
基本的EPS* (円)	58.90	58.07	-0.83	-1.4%

*基本的EPSは親会社の所有者に帰属する四半期利益を基に算定

(参考) 全社

(単位：億円)

	2017 Q1	2018 Q1	増減	増減率
為替一定調整後営業利益	1,503	1,510	+7	+0.5%

2. 事業セグメント別実績

(単位：億円)

	2017 Q1	2018 Q1	増減	増減率
売上収益	5,061	5,150	+89	+1.8%
国内たばこ事業	1,518	1,388	-130	-8.6%
自社たばこ製品売上収益	1,439	1,293	-146	-10.1%
海外たばこ事業	2,908	3,101	+193	+6.6%
自社たばこ製品売上収益	2,760	2,948	+188	+6.8%
医薬事業	232	267	+35	+14.9%
加工食品事業	383	377	-6	-1.5%
その他	21	18	-3	-15.5%
全社 営業利益	1,490	1,468	-22	-1.5%
国内たばこ事業	531	446	-85	-16.1%
海外たばこ事業	841	870	+29	+3.5%
医薬事業	51	77	+26	+52.1%
加工食品事業	12	7	-4	-38.2%
その他	55	67	+12	+22.6%
調整合計	-14	-13	+1	-
国内たばこ事業	-41	-43	-3	-
海外たばこ事業	-79	-93	-14	-
医薬事業	-	-	-	-
加工食品事業	-	0	+0	-
その他	106	123	+17	+16.4%
全社 調整後営業利益	1,503	1,481	-23	-1.5%
国内たばこ事業	572	489	-83	-14.4%
海外たばこ事業	920	963	+43	+4.7%
医薬事業	51	77	+26	+52.1%
加工食品事業	12	7	-5	-39.8%
その他	-51	-56	-5	-

(参考) 海外たばこ事業 ドルベース

(単位：百万ドル)

	2017 Q1	2018 Q1	増減	増減率
自社たばこ製品売上収益	2,429	2,724	+295	+12.1%
為替一定自社たばこ製品売上収益	2,429	2,611	+182	+7.5%
調整後営業利益	810	890	+80	+9.9%
為替一定調整後営業利益	810	874	+64	+7.9%

2018年 Q1実績

3. 減価償却費及び償却費

(単位：億円)

	2017 Q1	2018 Q1	増減
全社 減価償却費及び償却費	352	385	+32
国内たばこ事業	142	136	-6
海外たばこ事業	177	214	+37
医薬事業	13	13	+0
加工食品事業	15	15	+0
その他/消去	5	7	+1

4. 連結財政状態データ

(単位：億円)

	2017年12月末	2018年3月末	増減
資産合計	52,215	49,401	-2,814
資本合計	28,420	27,041	-1,380
親会社の所有者に帰属する持分	27,617	26,250	-1,367
1株当たり親会社所有者帰属持分 (円)	1,541.94	1,465.57	-76.37

5. 手元流動性及び有利子負債

(単位：億円)

	2017年12月末	2018年3月末	増減
手元流動性	2,918	1,948	-970
有利子負債	7,558	6,939	-619

6. 連結キャッシュフロー・データ

(単位：億円)

	2017 Q1	2018 Q1	増減
営業キャッシュフロー	-705	802	+1,507
投資キャッシュフロー	-224	-213	+11
財務キャッシュフロー	-537	-1,523	-986
現金及び現金同等物の期首残高	2,942	2,855	-87
現金及び現金同等物に係る換算差額等	4	-95	-98
現金及び現金同等物の期末残高	1,479	1,826	+348
FCF	-924	650	+1,574

7. 資本的支出

(単位：億円)

	2017 Q1	2018 Q1	増減
資本的支出	234	306	+72
国内たばこ事業	74	108	+34
海外たばこ事業	126	114	-12
医薬事業	14	28	+14
加工食品事業	14	48	+34
その他/消去	7	8	+1

8. 為替

	2017 Q1	2018 Q1	増減	増減率
円/USドルレート	113.60	108.22	-5.38	4.7%高
RUB/USドルレート	58.82	56.88	-1.94	3.4%高
GBP/USドルレート	0.81	0.72	-0.09	12.3%高
EUR/USドルレート	0.94	0.81	-0.12	15.4%高
CHF/USドルレート	1.00	0.95	-0.06	5.9%高
TWD/USドルレート	31.12	29.30	-1.82	6.2%高
TRY/USドルレート	3.69	3.81	+0.12	3.1%安
IRR/USドルレート	38,283	46,583	+8,299	17.8%安

2018年度業績 見込 (2018/2/6公表)

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2017年度 実績	2018年度 見込	増減	増減率
売上収益	21,397	22,200	+803	+3.8%
営業利益	5,611	5,610	-1	-0.0%
調整後営業利益	5,853	6,000	+147	+2.5%
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,924	3,940	+16	+0.4%

(参考) 全社

(単位：億円)

	2017年度 実績	2018年度 見込	増減	増減率
為替一定調整後営業利益	5,853	6,070	+217	+3.7%

2. EPS・配当金・ROE

(単位：円)

	2017年度 実績	2018年度 見込	増減	増減率
基本的EPS	219.10	219.98	+0.88	+0.4%
1株当たり配当金	140.00	150.00	+10.00	+7.1%
ROE (親会社所有者帰属持分当期利益ベース)	15.0%	14.0%	-1.1%pt	

3. 事業セグメント別売上収益

(単位：億円)

	2017年度 実績	2018年度 見込	増減	増減率
売上収益	21,397	22,200	+803	+3.8%
国内たばこ事業	6,268	6,080	-188	-3.0%
自社たばこ製品売上収益	5,906	5,730	-176	-3.0%
海外たばこ事業	12,376	13,200	+824	+6.7%
自社たばこ製品売上収益	11,770	12,650	+880	+7.5%
医薬事業	1,047	1,090	+43	+4.1%
加工食品事業	1,631	1,650	+19	+1.1%
その他	75	65	-10	-12.9%
全社 営業利益	5,611	5,610	-1	-0.0%
国内たばこ事業	2,158	1,860	-298	-13.8%
海外たばこ事業	3,256	3,560	+304	+9.3%
医薬事業	241	250	+9	+3.8%
加工食品事業	54	55	+1	+2.3%
その他/消去	-98	-130	-32	-
全社 調整後営業利益	5,853	6,000	+147	+2.5%
国内たばこ事業	2,323	2,020	-303	-13.0%
海外たばこ事業	3,513	3,960	+447	+12.7%
医薬事業	241	250	+9	+3.8%
加工食品事業	54	55	+1	+1.9%
その他/消去	-278	-290	-12	-

(参考) 海外たばこ事業 ドルベース

(単位：百万ドル)

	2017年度 実績	2018年度 見込	増減	増減率
自社たばこ製品売上収益	10,498	11,500	+1,002	+9.5%
為替一定自社たばこ製品売上収益	10,498	11,350	+852	+8.1%
調整後営業利益	3,138	3,600	+462	+14.7%
為替一定調整後営業利益	3,138	3,600	+462	+14.7%

2018年度業績 見込 (2018/2/6公表)

4. FCF

(単位：億円)

	2017年度 実績	2018年度 見込	増減
FCF	726	3,000	+2,274

5. 資本的支出

(単位：億円)

	2017年度 実績	2018年度 見込	増減
資本的支出	1,409	1,990	+581
国内たばこ事業	515	760	+245
海外たばこ事業	684	900	+216
医薬事業	62	120	+58
加工食品事業	104	150	+46
その他/消去	43	55	+12

6. 業績予想の主な前提条件

- 国内たばこ事業
 - ・ 2018年の国内たばこ総需要：対前年で4%台後半の減少（2017年の国内たばこ総需要は推計1,720億本）
 - ・ 2018年の国内紙巻たばこ総需要：対前年で17%台半ばの減少（2017年の国内紙巻たばこ総需要は1,514億本）
 - ・ 2018年のJT紙巻販売数量：対前年で16%台後半の減少（2017年のJT紙巻販売数量は929億本）
 - ・ RRP市場占有率（推計）：2018年は通年で23%程度（2017年は通年で12%程度）
- 海外たばこ事業
 - ・ 2018年の総販売数量：対前年で 約4%の増加（2017年の総販売数量は3,985億本）
 - ・ 2018年のGFB販売数量：対前年で 約2%の増加（2017年のGFB販売数量は2,604億本）
 - *2018年よりGFBの定義を9ブランドから4ブランドへ変更（Winston, Camel, MEVIUS, LD）しており、上記のGFB販売数量は4ブランドベース

<為替前提レート>

	2017年度 実績	2018年度 見込	増減	増減率	
円/USドルレート	112.16	110.00	-2.16	1.9%高	円
RUB/USドルレート	58.35	58.00	-0.35	0.6%高	RUB
GBP/USドルレート	0.78	0.74	-0.04	5.0%高	GBP
EUR/USドルレート	0.89	0.83	-0.06	6.9%高	EUR
CHF/USドルレート	0.98	0.98	-0.00	0.5%高	CHF
TWD/USドルレート	30.44	29.50	-0.94	3.2%高	TWD
TRY/USドルレート	3.64	3.80	+0.16	4.1%安	TRY
IRR/USドルレート	38,811	43,600	+4,789	11.0%安	IRR

<為替感応度>

- ・ 前提レートからの為替変動が利益に与える影響： 2018年調整後営業利益 3,600MM\$（算定ベース）
- ・ ドルに対して円以外の全ての通貨が2018年為替前提レートに対して同じ方向に1%変動すると、2018年ドルベース調整後営業利益見込が50MM\$弱変動
- ・ 50MM\$弱の変動を構成する主な通貨および内訳：
RUB 30%強, GBP 15%, TWD 15%, EUR 10%, TRY 5%, IRR 10%, CHF -10%強
- ・ 円換算時： 円がドルに対して1円変動 → 円ベース調整後営業利益が36億円程度変動

たばこ事業データ

海外たばこ事業

1. サマリー

	2017 Q1	2018 Q1	増減	増減率	
総販売数量	917	984	+67	+7.3%	億本
GFB販売数量	602	620	+18	+3.1%	億本
自社たばこ製品売上収益	2,760	2,948	+188	+6.8%	億円
調整後営業利益	920	963	+43	+4.7%	億円

[参考：ドルベース]

自社たばこ製品売上収益	2,429	2,724	+295	+12.1%	百万ドル
調整後営業利益	810	890	+80	+9.9%	百万ドル

為替一定ベース

自社たばこ製品売上収益	2,429	2,611	+182	+7.5%	百万ドル
調整後営業利益	810	874	+64	+7.9%	百万ドル

・クラスター別構成比

(億本/百万ドル)

2018Q1	総販売数量		GFB販売数量		自社たばこ製品売上収益	
SWE	160	16%	129	21%	519	19%
NCE	123	12%	52	8%	490	18%
CIS+	280	28%	211	34%	631	23%
RoW	421	43%	228	37%	1,084	40%
Total	984		620		2,724	

2. クラスター/市場別 総販売数量 (前年同期比)

	2018	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
SWE		0.7%				0.7%
France		-5.2%				-5.2%
Italy		4.5%				4.5%
Spain		11.8%				11.8%
NCE		-1.8%				-1.8%
Germany		-6.7%				-6.7%
UK		-1.4%				-1.4%
CIS+		-3.3%				-3.3%
Romania		1.0%				1.0%
Russia		-4.4%				-4.4%
RoW		22.7%				22.7%
Iran		8.6%				8.6%
Taiwan		-18.7%				-18.7%
Turkey		5.4%				5.4%
Total		7.3%				7.3%

3. ブランド別 GFB販売数量 (前年同期比)

(億本)

	2018	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
Winston		349				349
		5.3%				5.3%
Camel		131				131
		3.7%				3.7%
MEVIUS		37				37
		-17.3%				-17.3%
LD		103				103
		3.8%				3.8%

たばこ事業データ

海外たばこ事業

4. クラスター/市場別 GFB販売数量 (前年同期比)

2018	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
SWE	1.8%				1.8%
France	-4.4%				-4.4%
Italy	2.5%				2.5%
Spain	16.4%				16.4%
NCE	0.5%				0.5%
Germany	-7.8%				-7.8%
UK	-24.0%				-24.0%
CIS+	2.0%				2.0%
Romania	4.4%				4.4%
Russia	4.1%				4.1%
RoW	5.4%				5.4%
Iran	15.6%				15.6%
Taiwan	-21.8%				-21.8%
Turkey	8.4%				8.4%
Total	3.1%				3.1%

5. 主要市場別シェア

	12ヶ月移動平均			3ヶ月平均				
	2017 3月	2018 3月	増減	2017 Q1	2017 Q2	2017 Q3	2017 Q4	2018 Q1
France	22.0%	22.1%	+0.1%pt	22.1%	21.9%	22.0%	21.9%	22.6%
Italy	23.4%	23.2%	-0.3%pt	23.2%	23.2%	23.0%	23.1%	23.4%
Russia	32.5%	33.5%	+1.1%pt	32.1%	33.1%	33.8%	33.8%	33.5%
Spain	23.1%	24.2%	+1.2%pt	23.6%	24.2%	24.3%	24.0%	24.5%
Taiwan	40.4%	41.7%	+1.3%pt	41.5%	42.1%	42.7%	40.2%	41.6%
Turkey	29.1%	28.2%	-0.9%pt	29.1%	28.7%	28.6%	28.0%	27.6%
UK	41.6%	40.5%	-1.0%pt	41.1%	40.3%	40.2%	40.6%	41.1%

Source: IRI, Nielsen, Logista

6. クラスター別 為替一定自社たばこ製品売上収益 (前年同期比)

(百万ドル)

2018	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
SWE	455				
	-1.0%				
NCE	431				
	-8.4%				
CIS+	607				
	9.7%				
RoW	1,118				
	18.2%				
Total	2,611				
	7.5%				

たばこ事業データ

海外たばこ事業

7. 要因別 自社たばこ製品売上収益実績

・ドルベース						(百万ドル)
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	
2017	2,429				2,429	
数量差	+72				+72	
価格差/Mix	+109				+109	
2018 為替一定	2,611				2,611	
FX	+113				+113	
2018	2,724				2,724	

・円ベース						(億円)
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	
2017	2,760				2,760	
Operations	+206				+206	
現地通貨 vs. 米ドル	+129				+129	
円 vs. 米ドル	-147				-147	
2018	2,948				2,948	

8. 要因別 調整後営業利益実績

・ドルベース						(百万ドル)
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	
2017	810				810	
数量差	-7				-7	
価格差/Mix	+102				+102	
その他	-31				-31	
2018 為替一定	874				874	
FX	+16				+16	
2018	890				890	

・円ベース						(億円)
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	
2017	920				920	
Operations	+73				+73	
現地通貨 vs. 米ドル	+18				+18	
米ドル vs. 円	-48				-48	
2018	963				963	

9. 実績為替レート (前年同期比)

	2017Q1	2018Q1	Change (%)
RUB/\$	58.82	56.88	3.4%高
GBP/\$	0.81	0.72	12.3%高
EUR/\$	0.94	0.81	15.4%高
CHF/\$	1.00	0.95	5.9%高
TWD/\$	31.12	29.30	6.2%高
TRY/\$	3.69	3.81	3.1%安
IRR/\$	38,283	46,583	17.8%安
JPY/\$	113.60	108.22	4.7%高

*現地通貨 vs USD増減率：(前年同期の現地通貨レート/各期の現地通貨レート) -1で算出
 円 vs USD増減率：(各期のレート/前年同期のレート) -1で算出

たばこ事業データ

国内たばこ事業

1. サマリー

	2017 Q1	2018 Q1	増減	増減率	
紙巻たばこ総需要	377	318	-59	-15.6%	億本
紙巻販売数量	230	195	-35	-15.0%	億本

紙巻販売数量には国内免税販売分・中国事業部分(2017Q1実績：10億本、2018Q1実績：10億本)およびRRP販売数量を含んでいません

	2017 Q1	2018 Q1	増減	増減率	
自社たばこ製品売上収益	1,439	1,293	-146	-10.1%	億円
調整後営業利益	572	489	-83	-14.4%	億円

2018年度より、IFRS第15号の適用に伴い、従来、販売費及び一般管理費としていた一部の項目を売上収益の控除として会計処理しています
尚、調整後営業利益に与える影響はありません

2. 紙巻販売数量

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	(億本)
2017	230	238	235	226	929	
2018	195					
前年同期比増減率	-15.0%					

3. 紙巻千本当売上収益

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	(円)
2017	5,931	5,987	5,922	5,944	5,946	
2018	5,895					

千本当売上収益 = {販売定価代金-販売店マージン-消費税-たばこ税(国税)-たばこ税(地方税)-たばこ特別税(国税)} / 販売数量 x 1,000
2018年度より、IFRS第15号の適用に伴う影響を含んでいます

4. 四半期別RRP製品関連計数

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	(億本/億円)
2018						
RRP販売数量	3				3	
RRP関連売上収益	83				83	

5. 要因別 財務実績

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	(億円)
自社たばこ製品売上収益						
2017	1,439				1,439	
数量差	-207				-207	
単価差*	-7				-7	
RRP/その他	+68				+68	
2018	1,293				1,293	
調整後営業利益						
2017	572				572	
数量差	-170				-170	
単価差*	-7				-7	
RRP/その他	+94				+94	
2018	489				489	

*2018年度より、IFRS第15号の適用に伴う影響を含んでいます

6. 紙巻シェア

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	(%)
JT Total						
2017	61.0	61.0	61.1	62.4	61.3	
2018	61.4					
MEVIUS						
2017	30.5	31.6	31.3	32.1	31.4	
2018	31.0					
Winston						
2017	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	
2018	8.0					
Seven Stars						
2017	7.5	7.6	7.6	7.8	7.6	
2018	7.8					
Natural American Spirit						
2017	1.8	1.8	1.8	2.0	1.8	
2018	2.0					

医薬事業 臨床開発品目一覧 (2018年5月1日現在)

<自社開発品>

開発番号 (一般名)	想定する 適応症/剤形	作用機序		開発段階	備考
JTZ-951 (enarodustat)	腎性貧血 /経口	HIF-PH阻害	HIF-PHDを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	国内:Phase3 海外:Phase1	自社品 鳥居薬品と共同開発
JTE-052 (delgocitinib)	自己免疫・アレルギー疾患 /経口・外用 *アトピー性皮膚炎 /外用	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	国内:Phase3	自社品 *鳥居薬品と共同開発
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	ITK阻害	免疫反応に関与しているT細胞を活性化するシグナルを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	海外:Phase2	自社品
JTT-251	2型糖尿病 /経口	PDHK阻害	糖代謝に関与するピルビン酸脱水素酵素素(PDH)を活性化し、高血糖を是正する	海外:Phase1	自社品
JTK-351	HIV感染症 /経口	インテグラーゼ阻害	HIV(ヒト免疫不全ウイルス)の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害し、ウイルス量を低下させる	国内:Phase1	自社品
JTE-451	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	RORγ アンタゴニスト	Th17細胞の活性化に中心的な役割を担うRORγを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	海外:Phase1	自社品
JTS-661 (serlopitant)	そう痒症/経口	NK-1受容体 アンタゴニスト	ニューロキニン(NK-1)受容体を介した痒みの誘発を抑制する	*国内:Phase2	導入品 (Menlo Therapeutics社) 鳥居薬品と共同開発 *Phase2試験中止
JTT-751 (クエン酸第二鉄水和物)	鉄欠乏性貧血 /経口	経口鉄剤	鉄が消化管から吸収され、体内で赤血球中のヘモグロビンの成分として使用され、鉄欠乏性貧血を改善する	国内:Phase2	導入品 (Keryx Biopharmaceuticals社) 鳥居薬品と共同開発 効能追加

(注) 開発段階の表記は投薬開始を基準とする

<導出品>

一般名等 (当社開発番号)	導出先	作用機序		備考
trametinib	Novartis社	MEK阻害	細胞増殖シグナル伝達経路に存在するリン酸化酵素MEKの働きを阻害することにより、細胞増殖を抑制する	(適応: メラノーマ術後補助療法/dabrafenibとの併用) 米国(BRAF V600E/K遺伝子変異陽性) 欧州(BRAF V600遺伝子変異陽性) 申請中
抗ICOS抗体	MedImmune社	ICOSアンタゴニスト	T細胞の活性化に関与しているICOSの働きを阻害し、免疫反応を抑制する	
JTE-052	LEO Pharma社 ロート製薬社	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	
JTZ-951	JW Pharmaceutical社	HIF-PH阻害	HIF-PHDを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	

前回公表時(2018年2月6日)からの変更点

<自社開発品>

- ・JTS-661: Phase2試験中止、今後の開発方針について検討中

<導出品>

- ・JTE-052: 眼科領域の特定疾患の治療薬として、ロート製薬社へ日本国内における独占の開発・商業化権を導出(2018年3月15日)
- ・trametinib: Novartis社 タフィンラー®(dabrafenib)/メキニスト®(trametinib)併用療法(BRAF遺伝子変異を有する切除不能進行・再発の非小細胞肺癌に適用追加)につき、国内における製造販売承認取得を公表(2018年3月23日)

用語の定義

用語	定義
調整後営業利益	調整後営業利益 = 営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目 (収益及び費用)* *調整項目 (収益及び費用) = のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等
為替一定ベース 調整後営業利益 (全社)	海外たばこ事業における当期の調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドル、ドル対円の為替レートをを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標
Reduced-Risk Products (RRP)	喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品
GFB (Global Flagship Brands)	Winston、Camel、MEVIUS、LD の 4 ブランド
総販売数量 (海外たばこ事業)	水たばこ/RRP/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus/Kretek を含む
自社たばこ製品売上収益 (海外たばこ事業)	物流事業/製造受託等を除き、水たばこ/RRP の売上を含む
為替一定ドルベース 自社たばこ製品売上収益/ 調整後営業利益 (海外たばこ事業)	当期の自社たばこ製品売上収益/調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドルの為替レートをを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標
たばこ総需要 (国内たばこ事業)	日本市場全体におけるたばこの販売本数 (RRP 等を含む)
紙巻総需要 (国内たばこ事業)	日本市場全体における紙巻たばこの販売本数 (RRP 等は含まない)
紙巻販売数量 (国内たばこ事業)	国内免税販売/中国事業/RRP を除く、JT 紙巻たばこの販売本数
RRP 販売数量 (国内たばこ事業)	1 パック当たり紙巻たばこ 20 本として換算 (デバイス/関連アクセサリ等は含まない)
自社たばこ製品売上収益 (国内たばこ事業)	輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/RRP 関連の売上を含む
RRP 関連売上収益 (国内たばこ事業)	自社たばこ製品売上収益の内訳としての、デバイス/関連アクセサリ等を含む RRP の売上
手元流動性	手元流動性 = 現預金 + 短期保有の有価証券 + 現先
有利子負債	有利子負債 = 短期借入金 + コマーシャルペーパー + 社債 + 長期借入金 + リース債務
FCF	FCF = 営業活動キャッシュフロー + 投資活動キャッシュフロー ※ただし以下の項目を除外 <ul style="list-style-type: none"> 営業活動キャッシュフローから、利息及び配当金の受取額とその税影響額、利息の支払額とその税影響額 投資活動キャッシュフローから、事業投資以外に係る、投資の取得による支出、投資の売却及び償還による収入、定期預金の預入による支出、定期預金の払出による収入、その他

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・ニーズの変化及び需要の減少
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動
- (10) 自然災害及び不測の事態等

お問い合わせ先

日本たばこ産業株式会社 IR 広報部
東京都港区虎ノ門 2-2-1 JT ビル
03-5572-4292（代表）